

1 はじめに

天草郡市中学校体育研究会は、西村隆夫会長（五和中学校）のもと、19校の保健体育担当者で研究を進めてきた。天草の生徒が体育を好きになるように、また進んで楽しく体を動かしながら、結果的に体力が向上するように、体育の授業のあり方について考えてきた。特に今年度は授業研究会や各校の校内研究における構想案検討、小中連携で9年間を見通した生徒の育成に力を入れ、様々な実践の紹介や情報の共有・交換等を行いながら、天草郡市中体研メンバーで協力しあってきたところである。

2 研究組織

会 長 西村 隆夫（五和中学校）

理 事 長 山崎 竜太郎（大矢野中学校） 副理事長 中本 武蔵（苓北中学校）

○天草郡市は、天草郡市全体の活動と各地区を5つのグループでまとめた地区別の活動(総務理事が中心)で、授業研究、授業情報交換、研修復講等を行っている。

3 活動状況

4月26日・・・第1回授業研究会(年間計画立案、授業構想案検討)

5月17日・・・第2回授業研究会(授業構想案検討、小体研との情報交換)

5月30日・・・小中学校体育主任研修会(苓北中学校体育館)

研究授業「バドミントン 苓北町立苓北中学校 中本武蔵 教諭」

7月27日・・・保健体育指導講習会(玉名荒尾)

8月10日・・・教員採用試験学習会

11月13日・・・第1・2回体育研究委員会、体育部門授業研究会役割分担、構想案検討

11月22日・・・県中学校保健体育研究発表大会(人吉球磨大会)

11月29日・・・上天草地区第3回部門別研究会

研究授業「柔道 上天草市立松島中学校 中山 幸明 教諭」

11月30日・・・復講等

2月 9日・・・天草教育研究所体育部門授業研究会(本渡南小学校体育館)

研究授業「マット運動 天草市立本渡南小学校 池田 幸希 教諭」

3月・・・第3回体育研究委員会、年間反省等

4 研究テーマ

天草郡市体育研究会研究テーマ

「体育が好きで、進んで体を動かす生徒の育成」

～単元デザインの工夫と個に応じた指導を目指して～

5 研究の実際・・・研究授業及び授業研究会の取組から

小中学校体育主任研修会・授業研修会(5月30日 苓北町立苓北中学校体育館)

○研究授業 第2学年 ネット型「バドミントン」

授業者：苓北町立苓北中学校 中本 武蔵 教諭

○研究会

・授業研究会

天草郡市小中学校の共通課題による協議の柱

(1) 単元デザインの工夫について

子どもたちに達成感を味わわせるための単元のゴールを意識した単元デザイン及び授業内容の工夫

(2) 個に応じた指導について

「できた」、「分かった」、「できそうだ」、「次の時間、またしたい」といった思いを持たせるための指導・支援の工夫(ICTの活用等)

・指導及び助言 天草教育事務所 黒川雅弘 指導主事

(1) 単元デザインの工夫について

				
スキルアップトレーニング(体カテスト課題、技能の習得を目指して単元を通して実施)	めあての確認(全員で意識、達成するための練習を確認) 単元ゴールの意識化	課題解決に向けた練習(試しのゲーム等)	ICT を活用した技能チェックとチーム作戦確認と練習	ミニゲーム

*授業の流れを毎時間基本的に同じすることで、生徒は活動を理解し、安心して授業に臨むことができる。また、運動量の確保にもつながり、達成感と充実感を味わうことができた。

*ICT を効果的に活用することで生徒は、自分の今の状況を知ることができた。

(2) 個に応じた指導について(本授業での工夫)

- スキルアップトレーニングの内容を工夫することで体カテストの課題改善とバドミントンの動きの習得を目指した。
- めあてを示し、本時の活動内容の確認と前回授業の振り返りを行い、課題を明確にした。
- 練習の場、練習内容を工夫して個々が課題に取り組める環境づくりを行った。
- ICTを活用した、動きの確認、チーム作戦の共有。指導者からのアドバイス。個々への声かけを行った。
- ミニゲーム実施後のお互いの意見交換と次の授業への課題提起を行った。

(4) 成果と課題

天草郡市中体研と小体研は、共通のテーマで授業研究に取り組んでいる。これは、9年間を見通した児童生徒の育成を目指したもので、お互いに意見交換・情報交換をしながら授業充実に努めている。授業では、第2学年のネット型「バドミントン」で、ねらいを明確にしながら、課題を解決するための場の工夫や ICT 等を活用してお互いの気づきを伝え合うなどの生徒同士の関わり合い。生徒の意欲を高めるための声掛けの工夫や段階に応じたゲームのルール工夫。これらの活動を意図的に行ったことで、生徒は主体的・対話的に課題解決を行うことができた。技能の確実な定着、生徒同士の学び合い、個々の課題解決のために ICT 等の有用性を再認識できる授業であった。協議会では、これらの点を踏まえて活発な意見交換がなされた。小中連携で行ったことで、それぞれの視点から意見が出た。また、協議の最後には同じ校区ごとの学校同士で体育の授業や児童生徒の様子について情報交換会を行った。活発な意見交換会になった。特に、中学校からは、中学生になるまでに身につけさせておくべき技能について、小学校からは専門的な指導方法の工夫等について意見が交わされた。黒川指導主事からの指導助言もいただき、充実した研修となった。

小学校と中学校の合同研修は、双方の視点から学び合える貴重な機会である。天草郡市は、小中が年間で1本ずつの公開授業と研究協議を行っている。今後もこの活動を中心に、天草郡市の小中学校が一つになって児童生徒一人一人が「体育が好きだ」「もっとやりたい」「わくわくする」と感じる魅力ある体育の授業づくりを目指し、天草全体の体育の発展につなげられるように、より一層努力していきたい。

6 まとめ

今年度、多くの先生方と日々の授業についての情報交換や指導方法について、校内研等での構想案について検討してきた。その中で、各先生方の実践を知ったり、様々な視点からアイデアを出し合ったりしたことは、各学校での日々の授業実践に生かすことができる内容であった。また、若手の教員と中堅、ベテランの教員とが意見を交換し、情報交換の場とすることが出来た。次年度もさらに研究と修養を深め、授業力向上のために取り組んでいきたい。